



笑顔いっぱい 夢いっぱい 仲間とともに 輝く明日へ!

よりよい中川小学校を目指して～学校評価の結果～

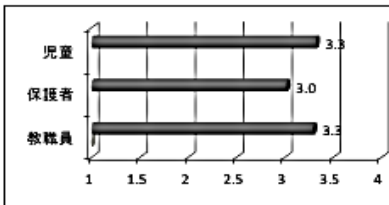


12月に行いました学校評価アンケートの集計結果を基に、学校評価検討会や学校評議員会(学校関係者評価会)で話し合われた内容をまとめましたので、お知らせいたします。子どもたちや保護者の皆さまの評価の数値を見ますと、おおむね満足できるものでした。今回の結果を活かして、来年度以降も、笑顔いっぱい夢いっぱいの中川小学校になるように、全職員で取り組んでいきたいと思ひます。

〈グラフの見方〉

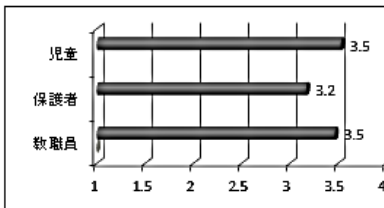
グラフは、A『はい』=4点、B『どちらかといえば「はい」』=3点、C『どちらかといえば「いいえ」』=2点、D『いいえ』=1点で換算し、平均値を棒グラフで示しました。80%がBと評価した場合は2.6点以上、80%がAと評価した場合は3.4点以上となります。また、()内は、保護者の方やお子さまに対する設問です。

Q1:ひとりひとりに応じた学びを提供し、自ら進んで学ぶことができるようになります。(自ら進んで学習に取り組んでいますか)



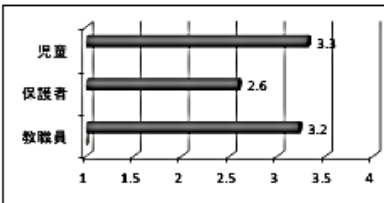
今年度も、自ら進んで学ぶ児童を育てるために、ひとりひとりの理解度や多様性に応じた学びを提供し、自分に合った学習方法を身に付けさせる取組を、全学年で行ってきました。さらに、今年度は自由進度学習を取り入れることに焦点を当て、児童が選択できる機会や、自己決定する場面を増やす取組を行ってきました。今後も自分の目標を決めて、その目標を達成するために学習方法やペースを考えて、取り組むことができるような授業づくりをしていきます。

Q2:個に応じて分かる授業、できる授業を行います。(学習内容を身に付けていますか)



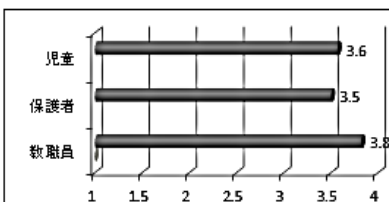
昨年度に引き続き、教科担任制を取り入れました。算数科・社会科・家庭科・音楽科・総合的な学習の時間・書写などの教科で専門性を生かした指導ができるような体制を整え、成果を上げることができました。また、2年生・3年生を対象に放課後学習タイムの時間を設け、個々の理解度を上げることができました。今後は、教科担任制とチームティーチングのより一体的な充実を図り、「分かる」「できる」授業づくりを推進していきます。

Q3:読み聞かせを行うなど、読書活動の充実を図ります。(読書に親しんでいますか)



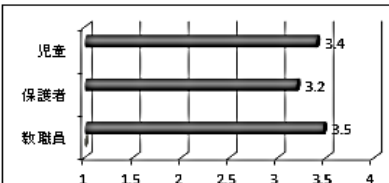
図書室が新校舎に移動し、リニューアルされたことで利用者数が増えました。また、昨年度に引き続き、週に一度読書タイムを設けたり、港図書館から司書を招いてブックトークを行ったりしました。さらに、図書委員会が主体となって本の帯や利用者数ランキング紹介ポスターなどを作成し、例年以上に本に興味をもてるような取組を行いました。今後も、月に1冊以上、家庭でも本を読むことを目標に学校と家庭で連携した取組を考えていきたいと思ひます。

Q4:行事等を通して、子どもの自主性や協調性を育てます。(行事等で、進んで行動したり、仲間と協力したりしていますか)



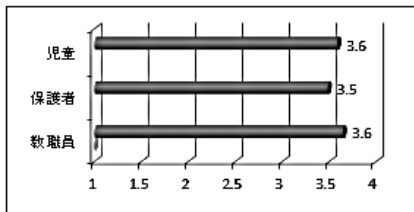
運動会や全校児童集会などの行事に向けて、児童が自主的に練習に取り組んだりアイデアを出し合ったりできるようにしました。学芸会では、それぞれ与えられた役割の責任を果たすために、小道具を自分たちで作ったり、表現の仕方を出し合ったりしながら、作品を完成させることができました。各学級においても、仲間を大切にしながら、学級や学校をよりよくしていこうと係活動や当番活動を工夫して取り組む姿が見られました。今後も、児童を中心に据え、児童が仲間と力を合わせて、主体的に学校生活を送ることができるよう支援していきます。

Q5:挨拶のできる子を育てます。(元気に挨拶をしていますか)



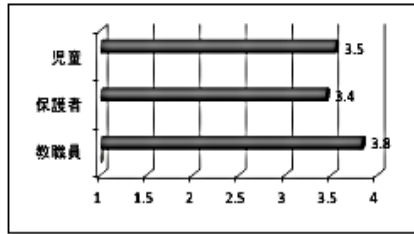
今年度も、毎月第1週目を「あいさつWEEK」として、「朝の挨拶運動」を行いました。どのような工夫をすれば、学校の皆が自分から気持ちのよい挨拶をすることができるかについて、代表委員会で話し合いました。「あい・あい・あいさつ活動」の公式キャラクターである「あいモン」のお面を作り、かぶりながら挨拶運動を行いました。代表委員の挨拶に対して、笑顔で返す児童をたくさん見ることができました。挨拶をされたから返すのではなく、友達や先生、学校に関わる人に対して自ら進んで挨拶をすることができるようになってほしいと思ひます。来年度も挨拶の大切さを伝える活動を考えていきます。

Q6:ペア活動や思春期セミナー、保育園児とのふれあいを通してやさしい心を育てます。(友達や家族、地域の人にやさしくしていますか)



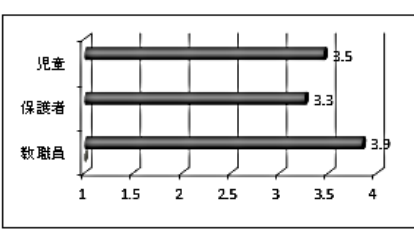
今年度も思春期セミナーや保育園児との交流を通して、やさしい心、相手を大事にする心を育ててきました。また、全校児童集会をはじめ、ペアで手紙を渡し合ったり、思い出を紹介し合ったりするなど、ペア活動を通して、相手を思いやる姿が見られました。高学年が低学年に優しく接する中川小学校の伝統が受け継がれています。そのことは、分団登校の様子からも見ることができます。今後も、異学年との交流の場を増やし、言葉を交わして相手を理解したり周りを思いやったりすることができるようにしていきます。

Q7:体育集会や体育の学習、休み時間を通して、体力の向上を図ります。(運動に親しんでいますか)



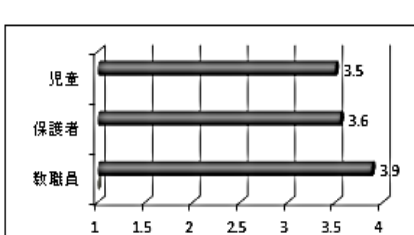
体育集会では長縄大会やドッジボール大会など、児童全員が楽しく体を動かす機会を設けました。また、体育の授業では、運動する場や練習方法を複数用意し、児童の興味関心や学習状況に応じて、児童全員が積極的に運動に取り組むことができるようにしました。冬の寒い日も、縄跳びカードを活用して、短縄など体が温かくなるほど運動に親しんでいました。休み時間では、一輪車や竹馬、縄跳びエリアを設定し、様々な運動に触れることができるようにしました。今後も、誰もが運動に親しむことができるよう、集会や授業等を工夫していきます。

Q8:食に関する指導や保健指導により、健康な体づくりに努めます。(健康な生活を意識していますか)



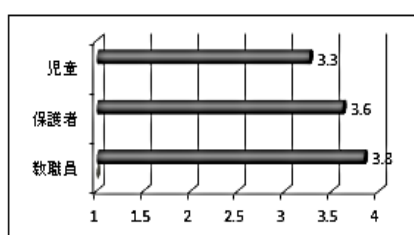
食に関する指導については各学級1時間ずつの指導と、学期ごとに各学級10分間のミニ食育を各学年に応じた内容で実施しました。また、栄養教諭が巡回したり、会食したりすることで給食指導を実施しました。保健指導については、身体測定前の時間を使い、学年の発達段階に応じた内容で行いました。夏休みと冬休みの前には、規則正しい生活習慣を維持することを目的に、健康カレンダーを配付しました。また、4年生は思春期セミナー、5年生は全国はみがき大会、6年生は心肺蘇生法講習に参加し、学びを深めました。食・保健ともに掲示物を充実させ、楽しみながら健康な体づくりを学べるよう工夫しました。今後も児童の健康意識を高める取り組みを進めます。

Q9:教育相談週間やスクールカウンセラーの活用、声かけを通して、子どもが安心して学校生活を送ることができるようにします。(安心して学校生活を送っていますか)



今年度も学期に1回、教育相談週間を設けました。その際、担任以外やスクールカウンセラーとも面談を希望できるようにしています。また、毎週スクールカウンセラー(SC)が来校し、保護者や児童からの相談を受けています。昨年度に引き続き、4年生を対象にSCとの全員面談も実施し、問題の早期発見に努めるとともに、SCに気軽に相談できるようにしました。今後も、教職員間で児童についての情報交換を通して共通理解を図り、全職員で全児童を見守っていくとともに、SCなど教職員以外にも相談できるような体制を整えていきます。

Q10:中川だよりや学年だよりなどを通して、学校の様子を保護者・地域に知らせます。(中川だよりや学年だよりなどは、学校の様子を知ることに役立っていますか)



学校での児童の様子を保護者の皆様に伝えられるよう、また親子の話題につながるよう、中川だよりの内容の充実を努めています。また学年だよりでも、学年での取り組みや児童の様子を伝えてきました。保護者の方からの要望もあり、今年度より、中川だよりや学年だよりなどを、スマートフォンなどでも閲覧できるように配信にしております。また、学校だよりでは、お伝えしきれない、日々の学校生活の様子をホームページを通して、できるだけ多くお伝えできるように努めております。

学校評価関係者会では、家庭学習の取組についての話題があがりました。中川小学校では、自主学習に取り組んでおり、発達段階に応じて、課題を選択させたり、計画を立てさせたりして進めています。ぜひご家庭でも、子どもたちが取り組んでいる家庭学習の内容を把握したり、声掛けをしたりしながら、支えていただける幸いです。

今後も学校、家庭、地域で協力して、主体的に学ぶ中川っ子を育てていきたいと考えます。引き続き、ご支援・ご協力をお願いいたします。